

## 家計相談 Q&A (第29回) 「20代で家づくり、課題は？」

ばんだいこうじ

Q: 20代後半の共働き夫婦です。マイホームが夢でした。子供も生まれ早く家を建てたいと思っています。私達夫婦の課題は何でしょうか？

A: 今回は消費者の先入観と専門家の見解が全く異なる事例です。現実的な内容で、身に覚えの有る方も多いのでは？

**20代の課題** 20代と30代では家づくりの状況がまるで違います。20代の家づくりの特徴は3点あります。



①共働きで家計が赤字でも無いのに、試算では今後10年前後は家計に余裕が無い状態が続く。

②余裕が無いのは住宅予算が高額だからと勘違いして予算を減らし小さな家にする。

③10年後、子供が成長すると手狭になり、またデザインにも違和感を覚え後悔する。

**その原因と対策** ①家計に余裕が無いのは、そもそも最初の貯蓄が少ないのが原因でそれを引き継いでいるだけ。今の家計に問題がある訳では有りません。これを改善するには、贈与で資産を増やすか、子供が誕生するまでの期間に出来るだけ貯金することの2つ。人生には3大貯蓄チャンス（これは私が名付けました）が有って、最初がこの20代前半。しかしそんな認識は無いので使ってしまう方が殆ど。生涯を通して、生活費が最も多いのもこの時代。身に覚えがあるのでは？

②家計が原因では無いから 住宅予算を減額しても状況は大きく改善しません。逆に予算を増やしても悪化することも有りません。

③10年も経つと家族の成長だけでなく、好み自体変わります。特に20代と30代では志向する家が違うので後悔が出てきます。急いで家を造るのはオススメしませんが、10年後を想像してデザインするのが大事なポイントです。

**相談者の家計** 予算の減額を指向していましたがこれは不要、将来も見据えた間取りと予算で進めて下さい。家計の改善点を挙げれば、食費・交際費は節約できそうです。貯蓄に付いても、共働きのお蔭で老後には余裕があるので、今を一層苦しくする様な個人年金保険や確定拠出年金などの老後対策は逆効果です。最後に20代の方は貯蓄チャンスを活かして下さい。

### 【アドバイス】

- (1) 人生に貯蓄できるチャンスは3回のみ！
- (2) 最初の1回目は20代前半だが、残念ながら自覚なく使ってしまう！
- (3) 原因を理解せず、一時の感情で家づくりをしない！

シジミさんの家計 / 平田市在住

夫(28) 会社員・妻(26) 会社員・子ども1歳・将来もう一人希望